

お得で安全！
とっておきの海外旅行支払い術

トラベル&マネー術

Travel & Money



海外のお金に関する

Q&A

??



Q カード払いと現金両替
どちらがお得？

A カードの為替レートは
現金のレートより総じてお得

カードでショッピングした場合の海外事務手数料は、現金両替の手数料よりも総じてお得。ちなみに海外のATMでキャッシングした場合の利息も現金両替のレートよりお得な場合が多い。➡4・9ページ参照

Q 両替しすぎて余った
現地通貨をどうすればいい？

A 再両替は非常に損。
使い切るか、次回までとっておく

円を両替し、余った現地通貨を円に再両替すると、両替手数料が二度かかりとても損。現金はできるだけ使いいきるべき。最低限必要な分だけ海外のATMで引き出す方法がお得で便利。残った現金とカードを組み合わせて払うというワザも。

Q やっぱりトラベラーズチェックが
安心かしら？

A 使える場所が減っている。
換金に手数料がかかる

トラベラーズチェックの魅力は、盗難や紛失の際に再発行してもらえること。ただし、再発行には時間がかかる場合も。また、使える店舗も減っており、銀行で換金しても手数料がかかる。日本の銀行で取り扱っているトラベラーズチェックは、米ドルやユーロなど一部のメジャー通貨しかない場合が多く、アジア諸国への旅行にはやや不向き。

Q チップやタクシー代は
カードで払えないの？

A カードで
支払えるケースが多い

レストランのチップは、カードの伝票にサインする際に、「Tip」と書いてある欄にチップの額または10%など請求額に対するチップの率を書き込めば、その分も合算して決済してくれる。また、日本のタクシー同様、海外でもカードで支払うことのできるタクシーは増えている。チップもタクシー代もできるだけカードで支払えば、わずらわしい小銭の計算から解放される。➡12～15ページ参照

Q 現地通貨への両替は
どこですればよい？

A 国によってさまざま。
実はATMが便利でお得！

現地の空港の到着ロビーや市内の両替所があるが、レートの違いや手数料を考えるのは面倒。そこでおすすめなのが、現地ATMの利用。現地の空港に着くとまず、ATMに向かい、カードで現金を引き出す。キャッシング金利の方が両替手数料よりも低い場合も多い。➡4ページ参照

Q もし盗難にあつたら、
カードは隙限なく使われそうで
怖くない？

A 万が一不正利用されても、
カード所有者を守るルールがある

自分のカードが不正に使用されてしまうという事件もごくたまにある。特に海外は不安。しかし、第三者による不正利用には「ゼロライアビリティ」という不正利用補償制度が適用される。所有者に明らかな非がない限り支払いの義務はなく、請求はされない仕組みになっている。現金より安心なのだ。➡5・8ページ参照

マヌー式快適海外旅行の キーワードはキャッシュレス！

不慣れなカードをいったいどのように使いこなせばスマートな旅行者となるのか？
それを誌上で実践してみることに。



限りなく手ぶらで行く、
海外旅行のススメ
—— 旅行作家 山下マヌー

海外旅行に出かける人によく見られるのが、持ち物の多さ。わずかに数日間だというのに、スーツケースの中がパンパンになっている人がいます。パンパンにするべきなのは現地での思い出と、欲しかったモノやお土産だけでOK。荷物が人を縛り、行動を妨げるというのは事実です。旅先でフットワークよく行動するためにも、荷物と体は軽くしておくのがいいんです。軽くといえば、もう一つ軽くしておきたいものがあります。財布です。

人生のハレの日の海外旅行なら、普段よりお金をかけて遊びたいものです。およそ1週間の滞在と仮定して、食費や交通費のほかショッピングも含めたら、軽く10万円。いや、数十万円を超えるかも？ この金額をどうやって日本から運ぶのか？ 多額の現金を持っていくのは危険なうえ、**ホテルに預けたり、持ち歩いたりするのも不安**。やはりここは、**カードを持参するに限る**のです。

カードがあれば身分証明の代わりになったり、予約がスムーズに完了したりする場面も多々あります。思いがけないお宝に遭遇し、予定していなかったものを購入したくなることだってあるかもしれません。そんなとき、**カードならあらかじめ利用限度額をUPして備えておくことが可能**。欲しかったものを逃してしまい後悔するということもありません。それになにより、**現金を両替するよりカードを利用するほうが手数料がお得**！ また万が一他人に不正利用されてもその分は全額補償されるので現金よりも安全ともいえます。

カードの買い物＝借金と感じている方もいるかもしれません。ですが、こと海外旅行の場面においては、**カードは安心かつ快適、そのうえ実は最もお得**、ということ覚えておくことです。



現金要らずの快適な旅は、出発前の準備から。まずはカードを用意します。「それってクレジットカードのことですか？」と、そう考えるのが普通の旅行者。クレジットカードにプラスしてVisaデビットカードやネオカードのような、**海外専用トラベルプリペイドカード**も用意しておくのが今どきのスマートな旅行者。

…と聞いて、「海外専用プリペイドカードっていったいなに？」と疑問に思う方もいるかもしれませんが。これは日本で口座に預けておいた金額を上限に、旅先のATMで現地通貨が引き出せるうえ、ショッピングにも使えるという優れもの。短期の旅行ならクレジットカードだけでもこと足りますが、**1人で留学や長期滞在**をする場合には、現金もそれなりに必要になります。そんなときには、海外専用トラベルプリペイドカード。日本にいる家族や知人に自分の口座へお金を振り込んでもらえば、現地で現地通貨として引き出せるというわけです。また、銀行口座から直接引き落とされ、現金感覚で使えるVisaデビットカードも便利。クレジットの後払いが苦手な方には特におすすめです。

しかし、カードを用意しただけでまだ万全とはいえません。旅先ではやりたいことや、

偶然見つけて気に入って買いたくなってしまうものもあります。そんなときに備え、多額の現金を持ち歩くというのは危険。かといってカードの利用額にも限度があるし…？ 大丈夫。解決する方法があるんです。出発前に「**海外旅行に行くので限度額をアップしてほしい**」とカード会社に連絡。そうすれば、旅の期間中、利用限度額がUP。これで遊びも物欲もセーブする必要がなくなりますね！

そうそう、忘れてはならないのが暗証番号（PIN）。海外では必要な場合が多いので、ATMのキャッシング枠や利用限度額と併せて事前に確認を。



山下マヌー（やました・まぬー）

編集者を経て旅行作家に。ほぼ毎月海外取材に出かけ、渡航回数は300回超。「定番ハワイの遊び方」ほか、海外に関する著作数は50冊に迫る。

▶ TRAVEL TIPS

お金を使いに行くのが海外旅行。多額の現金を用意して行くのは不安では？ 安心／安全／お得で考えたら、海外は現金でなくクレジットカードやプリペイドカードを持って行くのが正解。

到着空港のATMで必要最低限の現金を確保 自由旅行の場合、カードがないと宿泊お断り？

颯爽と空港に降りたったあなたがスーツケースを受け取って向かう場所は、**大勢の人が並ぶ両替所ではなく、ATM**。すぐに必要となるホテルでのチップなど（地域によっては空港からのタクシー料金、途上国なら**トイレ使用料なども小銭が必要**）、この先旅の途中で必要になると思われる現金をカードで引き出しておきます。旅人のスクランブル交差点ともいえる空港です。ほとんどの空港にはATMが設置されているので忘れずに。両替の列に並ぶ時間を節約できるばかりでなく、手数料もATMキャッシングのほうが得なことが多いのです。

現金を用意したら、空港から向かう場所はホテル。もしあなたが、あらかじめホテルを予約することなく、1人で自由気ままな旅をしているなら、クレジットカードは必須。なぜなら、**クレジットカードを提示しないと泊めてくれないホテルがあるから**。宿泊代金の未払いを防ぐため、ホテル側が事前に宿泊者のカード番号を控えておくのです。

すでに旅行代を支払ったツアー旅行なら、カードがなくても宿泊はできます。しかしカードがあるとないとでは大違い。チェックイン



時にカードを登録しておくことで、スパやエステのほか、ルームサービスやレストランやバーなど、**ホテル内での利用分を全てカード払いにすることが可能**に。ホテルの中で財布やバッグ、現金を持ち歩かなくてもよく、とても快適なんです。

ちなみに、支払いを部屋に付けてもらいたい場合の一言は「チャージ・トゥ・マイルーム」。この一言で、チェックアウトの際にカードでまとめてチェック＆サインが可能に。なんともスマートではありませんか？そのうえ、航空会社との提携カードならマイルもガッツリ貯まって、まさにお得なカード利用法というわけなんです！



▶ TRAVEL TIPS

カードは見知らぬ場所であなただけが信用されるための証明ともいえるのです。ホテルのチェックイン時にカードを登録しておけば、滞在中のあらゆるサービスがサイン一つでOK。いちいち現金を持ち歩く必要は無し。

安心で楽ちん！女子旅の買い物の場面こそ、 威力を発揮するカードの実力



ることにお気づきですか？ 旅先で見かける「手数料なし」とうたう両替屋も、レートに手数料を上乗せしている可能性があることを覚えておいてください。

カードは便利だけど、不安要素はないのでしょうか？ 最も多くの人が不安に感じるのが、「落としてしまっただけで他人に使われることはないのか？」というもの。万が一第三者に**不正使用された場合はどうなるか？ その分は全額保証**され、あなたが払う心配はありません（ただし、速やかに連絡しなかったり裏面に自身のサインがなかったりした場合には、その限りではないことも）。また、「カードを落としてしまったら？ 現金がないと不安」という人でも大丈夫。多くの会社が緊急カード再発行や、緊急キャッシングなどの対応をしてくれるうえ、24時間**日本語での緊急ホットライン**を設けているので相談できます。

日本未入荷のブランドネームをはじめ、高額の買い物をすることが予想される海外であればあるほど、カードがお得で安心ということがわかりいただけたかと思います。



お店での支払いもカードが得なんです。9ページの表を見てください。日本円から現地通貨に両替した場合とカードでの支払いの場合とでは、**手数料などにずいぶん差がある**



▶ TRAVEL TIPS

出発前にショッピングやキャッシングの利用限度額を確認するのを忘れずに。必要なら買い物限度額のUPも。また万が一カードが紛失・盗難にあっても本人に明らかな過失がない限り、第三者による不正利用分は請求されないから現金より安心。

レストランでの食事。仲間との割り勘も、チップの支払いもカードで OK



海外でオイシイものを食べたい。これもまた旅の重要なコンテンツの一つ。ガイドブックや口コミで見つけたローカルフードから、★付き高級レストランまで、海外での食事メニューのバリエーションは豊富です。屋台や市場ならともかく、狙いを定めた店で食事をするには、予約を怠りなく。会話に自信がない場合、ホテルのコンシェルジュに頼んで予約を(無料)。予約の際に確認しておきたいのが、①窓側や海側などの良い席をキープしてほしいということと、②カードが使えるかどうかの2点。



せっかくの海外での食事なら席にもこだわりつつ、支払いの心配もなく楽しみたいもの。そのためにはこの2点を忘れずに。肝心のオーダーですが、スタッフにおすすめ料理を選んでもらって、みんなでシェアするのが安全なオーダー方法の一つ。料理をシェアしたら、支払いも皆でシェアするというのがフェア？「え？カードで割り勘が可能なんですか？」という人もいますが、可能なんです。「チェックブリーズ」と勘定をお願いする際、「スプリット・ザ・ビル・ブリーズ」と告げ、金額を人数分で割ってもらえばOK。それぞれに渡された明細に、各自がサインをして支払えばいいんです。その際、チップもそれぞれの明細に書き込みます。ランチなら記載された金額の約15%。ディナーなら同じく約20%程度の金額を、明細の中のTIPと書かれた欄に書き込みます。この方法なら現金を使う必要もなくきちり割り勘ができて、とてもフェアなんです。それに両替した現金よりカードで支払うほうが得だしね。(P9の表参照)

2人で感動体験したかったアクティビティもカードがなければできない!?

絶景トレッキング、絶景サンライズツアー、ホエールウォッチ…。その土地でしか体験できない感動を味わうのが、旅の最大の目的。**カップル旅や新婚旅行など、いつまでも心に残る2人のアツい思い出**を作りたいと望んでいるのならなおさらです。逃したくないアクティビティは日本で予約しておけば万全ですが、日本で紹介されているのはごく一部。現地で体験できるすべてではないんです。

現地で知った**ツアーやアクティビティに申込みたい場合はどうするか？** レストランの予約同様、ホテルのコンシェルジュに頼めばOK。しかしレストランと違い、予約にはカード番号が必要。カード番号を伝えることで「キャンセルはしません。確実にいきます」という意思表示をすることになります。またツアー会社にとっても料金を取り損なうことがありません。スパやエステの予約も同様。とくに人気のスパなどでは、カードがないと予約を受け付けてくれない場合も。

現地で**レンタカーを借りたくなったときにも、カードが必要**。車の盗難防止と返却



が遅れた場合に備え、店がカード番号を控えておく必要があるためです。

ところで、近頃カードで支払う際「**日本円で決済しますか？ それとも現地通貨で？**」と聞かれることがあります。そのように聞かれたら「現地通貨で」と答えるのが賢明です。なぜならそのほうがお得なケースが多いから。今までの経験から言えば、円決済の場合、お店の手数料が上乗せされ、現地通貨での決済と比べて高いレートで計算されていることが多いようです。だから、そんなときには**現地通貨で決済した方が良いでしょう**。



▶ TRAVEL TIPS

支払い時に「日本円で払いますか？ それとも現地通貨で払いますか？」と聞かれたら、「現地通貨払い」と。円払いの場合、店独自レートで計算されていて、割高なケースがほとんど。

お守りにもなるのが 今どきのカードなんです

思いもしないトラブルに巻き込まれたり、ケガをしてしまうのも旅。そんなときにも頼もしい味方してくれるのがカードだったりするんです。もはやカードは旅行者のお守りか!?

旅行先で ケガを しても大丈夫!



旅先で万が一の病気やケガをして、高額な治療費を請求されるケースも。しかし海外旅行保険が付帯されたカードなら安心。かなりの金額まで保険でカバーされるのです。ただし、米国など治療費がとても高額な国もあるので、カバー額は確認を。

万が一 不正利用 されても大丈夫!



カードの不正利用保証制度をご存じですか? これは第三者に不正利用されたことがわかったら請求がすべて取り消されるというカード会社間のルールのこと*。また、そもそも最近のカードにはICチップが埋め込まれていて、カード情報を抜き出したりすることは相当困難になっているためスキミング行為は減少。カードはより安全になってきています。*裏面にサインがないなど本人に過失がある場合を除く。

購入品や携行品を 盗まれても 大丈夫!



カードにショッピング保険が付帯されていれば購入した商品代金をカバーしてくれるので安心。ですから間違っても賊を追いかけてはダメ。盗まれたものは戻ってきませんがお金は戻ってくるのです。

※カードにより条件は異なります。

緊急時サポートの 番号を控えて おけば大丈夫!



通常カードには緊急対応サービス番号が存在します。例えばVisaなら国ごとに緊急連絡先のフリーダイヤルが設けられ、日本人のスタッフも常任。紛失したカードの即時停止や緊急カード再発行、緊急キャッシングにも即時対応してくれま。

注意!

出かける前に保険内容を要チェック!

カードに付帯するサービスは、カードの種類によってもまちまち。必ずしも海外旅行保険やショッピング保険がサービスとして付帯されているというわけではありません。また、カードで旅行代金を払った際のみサービスが発生するというカードもあります。自分のカードにどのサービスが付帯されているのか、出発前にはよく確認を。

ヤバッ! 財布もカードも全部なくした!

カード裏面に記載のある24時間フリーダイヤル緊急デスクなど、カード会社の24時間緊急電話窓口へいち早く連絡を。そこで不正利用されないようカードの緊急停止、緊急キャッシング、緊急現地再発行など対応を相談。でも、カードをなくしては肝心の電話番号がわかりません。必ずカード番号と緊急電話番号は控えておくように。

ATM引き出しで日本で両替か? それともクレジットカード? ——損か得かはあなた次第!

ここまで読まれてきたあなたなら、海外で使うお金の価値はそのお金をどうやって用意するか、どうやって支払うかで損することもあれば得することもあるということがもうおわかりですね。たとえば5万円ならこんなに差がついたりして…。

旅行先では5万円の価値が 増えたり減ったりするんです!

行き先	日本の銀行で 両替すると	現地ATMで キャッシングすると	クレジットカードで支払うと
韓国	511,247 ウォン	600,240 ウォン 7,413円お得!	591,017 ウォン 6,748円お得!
台湾	14,124 台湾ドル	16,393 台湾ドル 6,921円お得!	16,129 台湾ドル 6,215円お得!
ヨーロッパ	414 ユーロ	433 ユーロ 2,274円お得!	426 ユーロ 1,497円お得!
ハワイ	549 ドル	565 ドル 1,455円お得!	556 ドル 664円お得!

・為替レートはすべて2013年1月7日調べ。実際の国際カードのレート、日本の銀行のレートで試算しました。
・クレジットカードのレートは、ショッピングの場合、100ウォン=8.46円、1台湾ドル=3.10円、1ユーロ=117.30円、1ドル=89.87円。キャッシングの場合、100ウォン=8.33円、1台湾ドル=3.05円、1ユーロ=115.42円、1ドル=88.43円。銀行の両替レートは、100ウォン=9.78円、1台湾ドル=3.54円、1ユーロ=120.92円、1ドル=91.08円です。
・お得額は、現地通貨のお得額をそれぞれのレートで日本円に換算した額を表記してあります。
・キャッシングの場合、返済までの利子及びATM利用手数料(105円もしくは210円)が別途かかります。標準的な返済期間である30日間の場合、利率は約1.5%です。キャッシングの返済を分割やリボ払いなどのその他の返済方法にした場合は、その限りではありません。
・キャッシングには限度額があります。
・海外でのキャッシングの前に、カードの暗証番号(PIN)、キャッシングの可否、キャッシング枠をご確認ください。

もう怖くない！ 日本語対応ATMも多い！

海外でATMを使ってみよう

最初にカードを挿入して操作をスタートする機種も多い。

ATMの
見つけ方

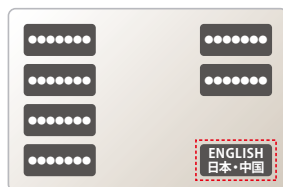


- Visa、MasterCard、JCB、銀聯など国際ブランドのロゴや、PLUS、Cirrus、Maestroなど国際ネットワークブランドのロゴが目印。
- 韓国ではGlobal ATMなどのサインのついたATMは多言語対応のATM。日本語に対応している場合が多い。
- 日本語対応のATMでも日本語に対応していることがわかりにくい場合もある。画面をよく見よう。
- 世界中のATM設置場所をインターネットで検索することができる便利なホームページはこちら。

Visa ▶ <http://www.visa-news.jp/cu/guide03.html>

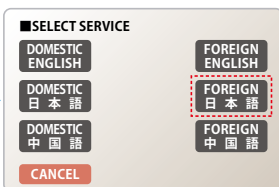
日本語対応 ATMの 場合

機種によってアイコンの文言や操作の
順番は違うが、基本的な操作は同じ。



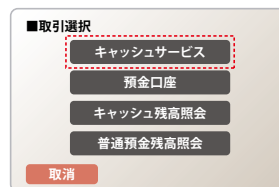
1 言語アイコンを選ぶ

「日本語」や「LANGUAGE (言語)」
などのアイコンを探そう。画面の
端のほうにあることが多いので、
あわてずに。
※暗証番号 (PIN) を先に入力するタイ
プもあり



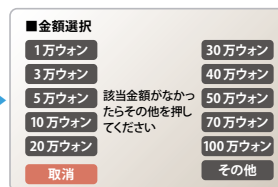
2 日本語を選ぶ

日本で発行されたカードなら
「FOREIGN (外国)」を選択しよう。



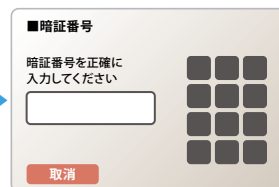
3 取引内容を選ぶ

クレジットカードで現金を引き出
す場合は「キャッシュサービス」
を選択しよう。国際キャッシュ
カード、国際デビットカード、海外
専用トラベルプリペイドカードで
引き出すなら「普通預金引出」を。



4 金額を選ぶ

金額は現地通貨で表示される。
自分で金額を入力したいときは
「その他」を。

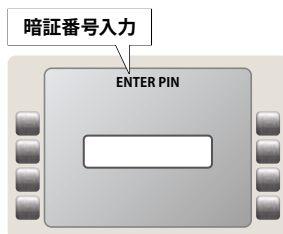


5 暗証番号を 入力する

暗証番号は4桁の数字。何度も
間違えるとカードが使用できな
くなることもあるので、慎重に！
※取引を続けるかを表示されたら、
「No」を選択する
※6桁の国では、暗証番号の前か後ろ
に数字の「00」を入力する場合も

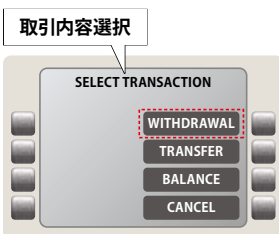
日本語非対応 ATMの 場合

機種によってアイコンの文言や操作の
順番は違うが、基本的な操作は同じ。



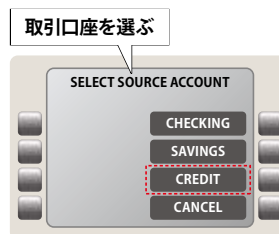
1 暗証番号を 入力する

暗証番号は4桁の数字。次の画
面に移動しない場合は「ENTER
(入力)」のアイコンを選択しよう。
※暗証番号 (PIN) を先に入力するタイ
プもあり
※6桁の国では、暗証番号の前か後ろ
に数字の「00」を入力する場合も



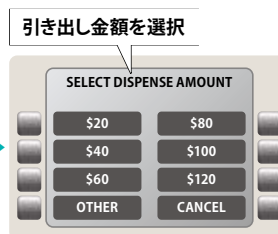
2 取引内容を選ぶ

「WITHDRAWAL (引き出し)」のA
アイコンを選択しよう。「TRANSFER」
は振込、「BALANCE」は残高紹介。



3 口座を選ぶ

クレジットカードの場合は「CREDIT
(クレジットカード)」もしくは「Cash
Advance」を選択しよう。
国際キャッシュ、国際デビット、海
外専用トラベルプリペイドで現金
を引き出す場合は「SAVINGS (預
金)」を選択。



4 金額を選ぶ

金額は現地通貨で表示される。
自分で金額を入力したいときは
「OTHER (その他)」を。
※取引を続けるかを表示されたら、
「No」を選択する

注意！

！ ATM操作中は身
の周りの持ち物
に目を配り、盗難被害
に気をつけよう。

！ トラブルを避けるため、操作についてわからないことがあっても、見ず知らず
の人に質問しないこと。カードが出でこないなどトラブルの際は、備え付けの
インターフォンで係員を呼び出して、「I'm in trouble. Please come! (困っています。
来てください)」と伝え、その場から離れないように。

海外ATMの単語帳

(SOURCE) ACCOUNT	口座 (種類)
AMOUNT	金額
BALANCE (INQUIRY)	残高 (照会)
CASH	現金
CASH ADVANCE	キャッシング
CHECKING	当座預金 ※通常使用しない
CLEAR	訂正
CREDIT	クレジットカード
DISPENSE	支払い
ENTER	入力する
GET CASH	引き出す
PIN	暗証番号
PRESS	押す
SAVINGS	預金
TRANSACTION	取引
TRANSFER	振り込み ※通常使用しない
WITHDRAW (/WITHDRAWAL)	引き出す (引き出し)

カードはどれだけ使える？

人気旅行先のお金事情

韓国

通貨:ウォン (₩)



■必要な現金の目安

物価が安く、チップの習慣もない。現金が必要になるのは、地下鉄の乗車券購入時と屋台での飲食時くらい。カードを中心に利用すれば、2泊3日の観光旅行であれば、現金は1人5000円程度で足りるだろう。

■カード事情

韓国は、大抵の場所でカード決済が可能なカード社会。
●店舗…屋台や東大門の一部店舗などを除き、コンビニやコスメ店などほとんどの店舗で少額から使用可能。
●交通機関…外国人観光客向けのインターナショナルタクシーなら、カードでの支払いが可能。インターナショナルタクシーは、空港に専用乗り場がある。空港と市内を結ぶ高速バスは、窓口でカードでの運賃支払いが可能。

■ATM事情



●主な銀行…韓国外換銀行、ウリ銀行、新韓銀行、KB国民銀行などの主要銀行ATMでクレジットカードや国際キャッシュカード、国際デビットカードや海外専用プリペイドカードでのウォンの引き出しが可能。
●ATM設置場所…仁川国際空港 1階到着ロビー各ゲート付近、金浦国際空港1、2階到着ロビーにある。ソウル市内では銀行やショッピングセンターなどに多く設置されている。また、空港や明洞エリアの観光スポットでは、日本語対応のGlobal ATMの設置箇所も多い。

香港

通貨:香港ドル (HK\$)



■必要な現金の目安

チップの習慣があり、トイレで必要な場合も。現金が必要なのはチップや夜市などの露店での買い物ぐらいで、カードを中心に利用すれば、2泊3日の観光旅行であれば、現金は1人1万円程度で足りるだろう。

■カード事情

●店舗…カード文化が進んでいるため、ほとんどの店舗でカードの使用が可能。ただし、屋台は不可。
●交通機関…カードで支払いができるタクシーはまだ少ない。空港と市内を結ぶ鉄道エアポートエクスプレスの切符はカードで購入できる。市内の様々な交通機関の運賃支払い時に使用できるツーリストオクトパスカードは、現金のみで購入可能。

■ATM事情

●主な銀行…Standard Chartered Bank, HSBC, 中国銀行、Hang Seng Bankなどの主要銀行ATMでクレジットカードや国際キャッシュカード、国際デビットカードや海外専用プリペイドカードでの現地通貨引き出しが可能。
●ATM設置場所…香港国際空港では、到着ロビーの中央トイレ付近にある。市内では銀行、ショッピングセンターなどに設置してある。

ハワイ、韓国、グアム、タイなどの空港や観光スポットでは日本語対応ATMも多い
※写真は日本語対応銀行の一例

ハワイ

Bank of Hawaii
(Bank of Hawaii)

韓国

KEB 外換カード
(韓国外換銀行/Korea Exchange Bank)

グアム

Bank of Guam
(Bank of Guam)

台湾

通貨:台湾ドル (NT\$)



■必要な現金の目安

チップの習慣はない。ただ、庶民的な小規模店舗では、カード普及率が低く、空港から市内への移動も現金払い。現金を使う機会も多いが、多額の現金を持ち歩くのは危険なので、必要に応じてATMから引き出すとよい。2泊3日の観光旅行であれば、現金は1人2万円程度で足りるだろう。

■カード事情

●店舗…大型レストラン、ホテルではカード使用可。一般的な商店や食堂、コンビニ、低価格のホテルでは使用できないこともあるので、必要な金額分だけATMで引き下ろすと良い。
●交通機関…タクシーではカードの使用不可。空港と市内を結ぶ高速バスの支払いでもカードは使えない。

■ATM事情

●主な銀行…台湾銀行、台北富邦銀行、兆豊国際商業銀行などの主要銀行ATMでクレジットカードや国際キャッシュカード、国際デビットカードや海外専用プリペイドカードでの現地通貨引き出しが可能。
●ATM設置場所…台湾桃園国際空港では、ターミナル1・2ともに到着ロビーにある。台北松山空港では国内線、国際線ロビーに設置されている。市内の設置台数はそれほど多くないので、銀行内のATMを利用すると良い。

グアム

通貨:ドル (\$)



■必要な現金の目安

チップの習慣あり。ホテルのベッドメイクなどのチップは現金で用意する必要がある。レストランなどではカードでサインする際、Tip欄に金額を記入すればチップもカードで支払える。物価は日本と同等。コンビニやファストフード店を含め、ほとんどの店舗でカードが使用可能。無料シャトルバスや循環バスのフリーパスを利用すれば、市内の移動に現金はいらない。カードを中心に利用すれば、2泊3日の観光旅行であれば、現金が5000円程度で足りるだろう。

■カード事情

●店舗…コンビニやファストフード店を含め、ほとんどの店舗でカードが使える。
●交通機関…タクシーではカードの使用不可。シャトルバスのチケットは現金でのみ購入可能。

■ATM事情



●主な銀行…Bank of Guam, Bank of Hawaii, Citibank, N.A.などの主要銀行ATMでクレジットカードや国際キャッシュカード、国際デビットカードや海外専用プリペイドカードでの現地通貨引き出しが可能。
●ATM設置場所…グアム国際空港の到着ロビー案内所付近に日本語対応のATMがある。市内のショッピングセンターやスーパーなどにも普及している。

人気旅行先のお金事情

ハワイ

通貨：ドル (\$)



■必要な現金の目安

チップの習慣あり。ボーダーや枕銭などホテルでのチップは現金で用意する必要がある。レストランなどではカードでサインする際、Tip欄に金額を記入すればチップもカードで支払える。物価は日本と同等。コンビニやファストフード店を含め、ほとんどの店舗で少額からカードの使用が可能。カードが使えるタクシーもあるが、現金しか使えない場合もあるので、頻繁に利用するならATMで必要分の現金を引き出しておくのがおすすめ。カードを中心に利用すれば、現金は1人5000円程度で足りるだろう。

■カード事情

- 店舗…コンビニやファストフード店、ファーマーズマーケットの一部店舗を含め、ほとんどの店舗でカードが使える。
- 交通機関…ホテルや店舗では、カード利用可能なタクシー (the Cab) を呼んでもらえる。バス内では現金。

■ATM事情

- 主な銀行…First Hawaiian Bank、American Savings Bank、Central Pacific Bank、Bank of Hawaiiなど主要銀行ATMでクレジットカードや国際キャッシュカード、国際デビットカードや海外専用プリペイドカードでの現地通貨引き出しが可能。
- ATM設置場所…ホノルル国際空港の到着、出発ロビーにある。空港やショッピングセンターなどを中心に日本語対応のATMが普及している。

タイ

通貨：バーツ (B)



■必要な現金の目安

チップの習慣なし。ただし、高級レストランやホテルなどではチップを渡したほうがスマート。空港から市街地への移動には現金が必要。中級以上のレストランではカードが使えるが、庶民的な食堂や屋台では難しい。また、寺院などの観光名所の入場料も現金払いが多い。物価が安いので、4泊6日の観光旅行であれば、現金は1人2〜3万円程度で足りるだろう。

■カード事情

- 店舗…中級以上のホテルやレストランであれば使用可能。一般的な商店や食堂、コンビニ、安めのホテルでは使えない。
- 交通機関…タクシーもバスも鉄道もクレジットカードは使えない。

■ATM事情

- 主な銀行…サイアム・コマーシャル銀行、サイアム・シティ銀行、バンコク銀行、カシコーン銀行、グルンタイ銀行などの主要銀行ATMでクレジットカードや国際キャッシュカード、国際デビットカードや海外専用プリペイドカードでの現地通貨引き出しが可能。
- ATM設置場所…バンコク国際空港では入国審査後の荷物受取エリアや税関を過ぎた出口付近などにATMがある。市内ではいたるところにATMがある。



シンガポール

通貨：(S\$)



■必要な現金の目安

基本的にチップの習慣はないが、高級レストランやホテルなどではチップを渡したほうがスマートな場合も。カード大国なので、ほとんどの店舗で少額からカードが使用できる。ただし、公共交通機関や屋台などでは使用できないところもある。日本円が使える有名店では必ずしも両替レートが良いわけではないので、現地通貨を選択する方が賢明。カードを中心に利用すれば、4泊5日の観光旅行であれば、現金は1人1万円あれば足りるだろう。

■カード事情

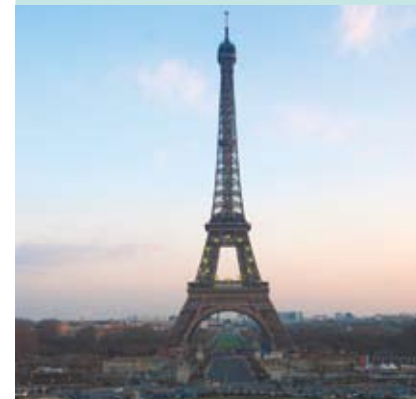
- 店舗…シンガポールはカード大国。ほとんどの店舗でカードが使える。
- 交通機関…ほとんどのタクシーでカードが使えるが、カード決済だと料金が高くなるタクシーもあるので、事前に確認しよう。公共交通機関ではカード不可。MRT(地下鉄)と市内バス共通の「ez-linkカード」や「シンガポール・ツーリスト・パス」を購入すれば、小銭を使わなくてもよいので便利。

■ATM事情

- 主な銀行…シンガポール4大銀行のDBS、POSB、UOB、OCBCのほか、シティバンク、HSBCなどの外資系銀行もあり、各銀行ATMでクレジットカードや国際キャッシュカード、国際デビットカードや海外専用プリペイドカードでの現地通貨引き出しが可能。
- ATM設置場所…チャンギ国際空港到着ロビーに複数のATMがある。市内にもATMが多く設置されている。

パリ

通貨：ユーロ (€)



■必要な現金の目安

ホテルでのベッドメークはチップが不要だが、レストランでは必要。カードでサインする際、Tip欄に金額を記入すればチップもカードで支払える場合もあるが、チップは現金で支払うケースが多いようだ。空港から市内への鉄道、バスの切符購入にもカードが使える。ただし、バスの車内で購入する際は現金のみ。ほとんどのタクシーは現金しか使えない。カードを中心に利用すれば、3泊5日の観光旅行であれば、現金は1人2万円程度あれば足りるだろう。

■カード事情

- 店舗…日本よりカードが普及しており、ほとんどの店舗で使用可能。美術館の入場料もカードで支払える場合がほとんど。
- 交通機関…メトロ (地下鉄) やRER (高速郊外鉄道) のチケットはクレジットカードで購入可能。ただし、ICチップ付カードでないと使えない場合も多い。メトロ、RER、バス共通の各種バスを購入すれば、いちいちチケットを買わなくて済むので便利。

■ATM事情

- 主な銀行…Societe Generale、Credit Lyonnais(LCL)、BNP、HSBCなどの主要銀行ATMでクレジットカードや国際キャッシュカード、国際デビットカードや海外専用プリペイドカードでの現地通貨引き出しが可能。
- ATM設置場所…シャルル・ド・ゴール空港の到着ロビーにATMがある。市内にもたくさんのATMがある。